

麻の仲間

吉野川市中学校駅伝大会

10月26日、好天の中、吉野川市中学校駅伝競走大会が山川町にある吉野川市総合スポーツ運動場で行われました。1年生からは三木希望美さんが参加し自己記録を大幅に伸ばすことができました。三木さんの感想を紹介します。



市の駅伝大会にオープンで参加しました。とても緊張したけど、練習の時より3分も速く走ることができ自己ベストを出すことができました。とてもうれしかったです。だからこの経験を生かし、何事にもチャレンジしてみようと思いました。

堀内佳さん人権コンサート

10月31日、人権教育講演会において、堀内佳さんによる人権コンサートが行われました。会場である体育館には、堀内さんのあたたかくて深く力強い歌声が、メッセージ性の強い歌詞にのせて響きわたり、私たちの心のひだにふれました。曲の間では、堀内さんがギターを弾くようになったエピソードや、両親への思いなどを語ってくださいました。また、私たちには「絶対に自分のことを嫌いにならないでほしい」と、自尊感情を育むことの大切さも伝えてくれました。



生徒の感想文を紹介します。

〇泣きそうになった。目が見えないことだからかわれたことが、もし自分だったらと想像すると、恐怖心がわいた。そんな体験があっても、ギターでたくさんの曲を作っているのはすごいし、どの曲もすごくいい曲ばかりだった。印象に残っているのは「ギターの持ち方が違っていても、それは自分だから」という言葉だ。最初から最後までとてもいい時間だった。ありがとうございました。また会えることを願っている。また会えたらいっしょに話をしたり、曲を聞かせてほしい。あの90分はしあわせだった。

〇感動した。それは堀内さんや堀内さんの家族の考え方がとてもすてきだと思ったからだ。特に印象に残っているのは「自分で限界をつくるな」という言葉だ。私は普段から「もう自分には無理だ」と思い込み、たくさんのこと

をあきらめてきた。けれど、この言葉を聞いてどんなことがあってもあきらめずにたくさんのことに取り組んでいこうと思った。堀内さんの言葉のおかげで、これからはがんばろうと思えるようになった。堀内さん、ありがとうございました。

〇特に印象に残ったことは、「自分をきらいにならない」という言葉だ。私は、入試の面接で「あなたのよいところは何か」と聞かれ、答えることができなかった。そのときの私は、「私のよいところってあったっけ？」と、ネガティブに考えてしまっていた。でも、県中に入塾して新しい友達をつくることで自分の世界が広がったり、自分のよいところを見つけることができた。だから、私にとってこの講演会は、今までの自分を振り返るものとなり、自分の成長につながり、本当にこの講演を聞いてよかった。

〇ぼくが一番印象に残ったことは、堀内さんの笑顔が2人の命を救ったということだ。笑顔が人を救うということは、自分の笑顔は相手も笑顔にして、相手の気持ちも楽にしてあげることができるんだと思う。だから、人から笑顔をうばうじめというものを、なくしたいと思った。次に印象深かったことは「自分のことを嫌いにならないでほしい」というメッセージだ。自分のことが嫌いだと自信がもてないからなんの行動もしないだろう。でも、自分のことが好きになると自信をもって行動できる。ぼくはこれから、自分のことが好きになるような行動をしていきたい。

〇私は堀内さんの話を聞いて、わからないんじゃなくて、わかろうとする気持ちを大切にしようと思った。目が見えないとか耳が聞こえないことなんて、自分にはわからないからという理由で、そこで終わるのではなく、同じ人間なのだからわからないなりに想像して、とりあえず考えてみることを大切にしたい。またこれは、勉強面でも同じで、今までの私は「わからないからこの教科はきらいだ」という考えをもっていた。でも、わからないのは自分の努力不足だから、もっと勉強して「わからないからしない」という考えを捨てようと思う。これからの日々の積み重ねを大事にしようと思った。

保護者のみなさまへ



昨日のPTA参観には、お忙しい中たくさんの方にご参加いただき、ありがとうございました。あわ文化について学んできたことを発表する活動で、生徒たちが協働しながらがんばる姿を見ていただけたと思います。

1月には、あわ文化検定があります。徳島の郷土料理や人形浄瑠璃、阿波の藍など、ふるさと徳島の魅力を発信するための知識を確認する検定です。ご家庭でもあわ文化についてお話いただけたら幸いです。

